

令和 5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 北九州文化学園 第二文化幼稚園

1. 本園の教育目標

- 心も体も健康で、たくましく粘り強い子に育てる。
- 自立心や協調性を育て、思いやりや善悪の判断が出来る子に育てる。
- 自然など身近なものへの興味や関心を育て、豊かな心、考える力を持った子に育てる。
- 言葉への興味・関心を育て、自分の思いを話したり、人の話が聞ける子に育てる。
- 体験を通して、感性に富み、創造性豊かな子に育てる

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育目標を教職員間で確認し、共通理解を図る。

これまで通り外遊びを奨励するが、2才～5才の年齢差を考え、遊び場の振り分けや時間等配慮し、危険がないよう、又、大きな事故に繋がらないようにルールを徹底する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保護者との連携	B	個別対応を重視し、個人個人の気になることや心配な点を保護者に伝え、共有し、解決に繋がるよう連携をとる。
安全教育	A	バスの点検、確認を再度強化した。
研修	C	もっと参加しやすい勤務体制を作らないといけないと感じた。(人的環境)

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	・日々の忙しさの中で、研修に赴く頻度は高いとは言えなかった。 ・保護者との連携はアプリを通して、日々行えるようになりましたが、働く保護者が増え、個人面談等は頻繁に行えなかった。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育の向上	気になる子供、支援の必要な子供への個別支援計画を作成する。
保護者との連携	こどもを真ん中に、些細なことも連絡を取り合い、信頼関係を作る。
職員の資質・意識の向上	研修に参加しやすい体制作りをしていきたい。又、園内研修及び職員会議を増やし、職員の資質・意識の向上や組織力の向上に努めていきたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

本年度も、安全面を最優先して保育されていて、安心して預けることができた。年齢差もあり、遊び場を分けるなど工夫があり、良かったと思う。

大行事の後、今後の参考の為、保護者にアンケートをとるなどしてはどうかと思う。

学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員